

ドコモ・バイクシェアのサイクルポートでは、お客様の移動ニーズにお応えし、いつでも快適にサービスをご利用いただくため、用地の環境や周辺状況を考慮した上で駐輪台数に制限を設けていないケースも多くあります。そのため、ご利用のニーズが高いポートでは自転車の貸出や返却が集中し、時間帯や曜日によっては自転車の駐輪台数に偏りが発生することがあります。

お客様の利便性向上とサービスの機会損失を両立するため、ポートにおける駐輪台数のバランスを常に適正に保つオペレーションに力を入れています。近年ではAIを用いて車両の再配置のルートを最適化する「シェアリングオペレーション最適化システム」を開発し、再配置業務に活かしています。

時間帯ごとの利用履歴や気象情報を組み合わせて各ポートの貸出・返却を1時間ごとに予測し、各ポートに対する再配置の重要度を点数化し、トラックの現在位置からAIが推薦する最適なルートを活用して再配置作業にあたっています。

シェアサイクル事業の運営にあたり、再配置業務の効率化は経営課題の一つになっており、今後、AIシステムの高精度化とあわせ、ポート収容力を高める取り組みを進めてまいります。

